吾
ONESELF

著者:私
日本語版

author : watashi
Japanese version

すべては、神のみぞしる。

すべては、聖なる書です。
すべては、神の宮です。
となえることば、これみな、聖なるみことばです。

ありとしあらゆるもの、
生きとし生けるもの、
みな神です。
唯、神のみあり、
唯一です。
唯なる神に生かされ、
唯一あります。
唯一神です。

今、我を抜け出し、
吾を知る。

吾は神である。

神は、吾を滅ぼし、
神だけ唯在る。

神は吾なしに生き、
神は神なしに存在す。

神は生きている。
神は神の外に生きている。
神は神の内に生きている。
神は神のみで生きている。
唯一、神が生きている。

私が神をにぎっているのではない。
神が私を所有しているのだ。
そして、神は神なる私をも、
捻り殺す。
神だけが在る。

幻の私が消滅したとき、
神が生きている。
唯、神が生きている。
唯、吾が生きている。

家族とは、
夫は神に従う、
妻は夫に従う、
子は親に従うのである。

家の真の主は神である。
仮の主たる夫が神に従うのは当たり前である。
真に妻が従う夫とは神である。
真に子が従う親とは神である。

すべからく、家庭皆、神に従うのである。
家庭は神の庭である。
神の内にて家族皆生きているのである。

そのとき、家族皆調和し、
幸福な家庭である。

神は生きている。
神に生かされ育まれていることを知り、
神の偉大さを賛美し、
神に感謝している
神の家がここにある。
今、神の家がここにある。
今，神が家庭に生きている。
神微笑み、家に笑いが絶えることはない。

国の根本に、
神が在る。

神を忘れるとき、
国滅び。
神を称えるとき、
国栄える。
これ、神の道理である。

各々の国に宮あり、聖域あり、
君民揃いて、崇め奉り、
神を拝す。
平治楽ここにあり。

神は唯一なり。
すべてにましまして、
偉大なり。

国異なり、名は違えども、
唯一なり。

名を捨て、
唯一なる神を、
唯、拝す。

永久に境なく、世は、
楽土である。